

SIG-Ⅲでの検討の進め方(案)

- (1) 提案されたシステム(サービス)を含め、今後実現が望まれる具体的なシステム(サービス)を利用分野ごとに整理する(重複や漏れの確認を容易にする)。
- (2) システム(サービス)ごとに、以下の①～⑥の事項を整理する。
 - ① 具体的なサービス内容の検討
 - ② 周波数の物理特性等を踏まえた使用希望周波数帯の検討
 - ③ ニーズ及び普及の予測の検討
 - ④ ビジネスイメージの検討
 - ⑤ ITSに関する国内外の標準化や技術開発等の取組み動向のまとめ
 - ⑥ 今後の課題の検討
- (3) (2)の整理が終了した段階で、中間報告書におけるワイヤレスブロードバンドに関する基本的な視点との整合性を確認する。
- (4) 整理したシステム(サービス)を使用希望周波数帯ごとに再分類し、効率的な周波数使用の観点から、サービス内容、ビジネスイメージ等を踏まえつつ、システム(サービス)の統合化の可否等について検討を行い、実現すべき具体的な(サービス)を固める。
- (5) 今後再編の対象となっている周波数帯等を念頭に、ニーズ動向、標準化時期、製品化時期等の状況を踏まえ、(4)で検討したシステム(サービス)の実現に係る要求条件(使用希望周波数帯幅、分配希望時期等)を検討する。さらに、可能であれば、システム(サービス)ごとに、導入希望時期を踏まえ、実現までの具体的なスケジュールを検討する。
- (6) 各システム(サービス)の今後の課題を踏まえ、ITSの普及支援策等を取りまとめる。
- (7) SIG-Ⅲの報告書を取りまとめる。

※) 上記の順番に関係なく、同時並行で検討できるものは検討を進める。